



グラフは、令和7年度に実施した学校評価アンケートの結果です。

「低学年の年間14時間の外国語活動は効果的である」に肯定的な回答をした児童（3・4年生）は、87%と令和6年度からほぼ横ばいとなりました。引き続き、効果が継続していることを読み取ることができました。

また、保護者、教職員についても、令和5年度から肯定的な数値が大きく増加した状態を保持できていることが読み取れます。しかし、以前からの課題である、保護者の方々と児童、教職員との数値の差が埋まっていません。引き続き、低学年からの外国語活動についての目的と効果について、保護者の方々に広報していく必要があると考えられます。

令和8年度も引き続き、浦安市外国語活動学習活動プログラムを効果的に活用し、ペア活動、体験活動、ICT機器の利活用、ALTとの交流を充実させ、外国語によるコミュニケーション活動を活性化することで、多様な文化への理解、他者への理解を育む教育を実践してまいります。

